

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	家庭ごみ等収集処理	担当者	生活環境課	廃棄物対策係
-------	-----------	-----	-------	--------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	4. 自然と共生する、便利で安全・安心な村/生活環境の整備/環境対策
関連する主な計画等	一般廃棄物(ごみ)処理基本計画
根拠法	阿智村廃棄物の処理及び清掃に関する条例、阿智村資源集団回収事業奨励金交付要綱 阿智村廃棄物集積施設設置事業補助金交付要綱等
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	一般廃棄物(ごみ)排出者
事業開始年	S51 <input type="checkbox"/> 時期不明 <input type="checkbox"/> 事業の終期 <input type="checkbox"/> 終期未定 <input checked="" type="checkbox"/>

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	ごみの適正分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理をし、生活環境の保全・公衆衛生の向上を図ると共に、リサイクル可能なものは資源化を図り、資源循環型社会の構築を進める。					
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・不燃ごみの最終処分を民間最終処分場に委託して埋立処分を行っている。 ・28品目の分別。収集品目は、燃やすごみ、不燃ごみ【ガラス類・焼却灰・ビニール類】、生ごみ、粗大ごみ、資源ごみ【ビン類(3品目)、ペットボトル、プラスチック製容器、紙製容器、白色トレイ、紙パック、スチール缶、アルミ缶、金属類、鉄くず、なべ類、硬質プラスチック、紙類(新聞紙・雑誌・ダンボール)、布類】、乾電池、ライター、蛍光管、水銀体温計の収集、運搬、再生、処分等の処理を行う。 ・小型家電無料回収に取り組む 					
実績・効果	家庭ごみ分別収集年間カレンダーに基づき各種ごみの収集を行った。					
	区分	単位	25年度	26年度	27年度	
	不燃ごみ	kg	32,510	34,920	33,850	
	プラスチック容器包装	kg	80,680	80,460	80,440	
	紙製容器包装	kg	21,240	20,360	19,690	
	ペットボトル	kg	16,300	14,660	15,210	
	硬質プラスチック	kg	27,610	25,350	26,880	
歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	環境委員報酬	672	西部衛生負担金	87,055	南信州広域連合負担金	22,699
	燃やすごみ	4,856	不燃ごみ	6,377	生ごみ	707
	粗大ごみ	330	資源ごみ	12,037	紙類等	1,042
	廃蛍光管等	823	その他	615		
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額(千円)	198,148	216,391	137,213	156,720	176,000
	うち一般財源	133,451	153,472	125,097	144,905	158,100
	うち補助金	52,003	52,003			5,900
	うち個人負担	12,694	10,916	12,116	11,815	12,000
	従事職員(人)	正規職員 0.5 臨時職員 0.5	0.5 0.5	0.5 0.5	0.8 0.5	0.8 0.5

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	家庭・地域の生活環境保全・公衆衛生等ニーズは高い。	A
	手段、成果は妥当か	a	環境保全・資源循環のためにはごみの分別収集は必要であり、資源循環のためには妥当	
	対象者の設定は妥当か	a	全村民を対象としている	
	村の関与は妥当か	a	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2の規定により義務付けられている。	
有効性	期待された効果が得られたか	<ul style="list-style-type: none"> ・不燃ごみの減少 ・レジ袋削減の意識が定着してきている ・小型家電無料回収で、家庭内のごみが資源化された 	B	
効率性	コストの削減に努めたか	b	広報で適正なごみ分別のお願いをして、分別作業コストの削減に努めている。	B
	効率性を高める工夫はされたか	b	年間の家庭ごみ分別収集カレンダーにより効率的な収集に努めている。	
公平性	受益者負担は適切か	燃やすごみ(60円/袋)、生ごみ(大100円、小70円)、不燃ごみ(50円/袋)、粗大ごみ(500円、1,000円)の受益者負担がある。	A	
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	拡充
課題	くりーんひる西部の施設改修工事が必要で、生ごみ処理が課題である。また、平成29年12月から本格稼働する南信州広域の新ごみ処理施設への搬入ごみの減量化が必要となる。
今後の取り組み	南信州広域の新ごみ処理施設での処理対象物に適合した収集体系(分別方法)の住民への周知、燃やすごみ指定袋の変更等を行う。また、村内への一般廃棄物最終処分場計画の推進や食品廃棄物の削減に向けて取組む。